

## 年賀挨拶

明けましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、北京オリンピックの年でもあり、トライアスロンでは初の入賞を果たしました。2012年ロンドンオリンピックへ向け「メダル獲得」というより大きな目標を掲げることができました。

福岡県トライアスロン連合でも高濱邦晃選手、田中敬子選手をはじめ、多数の強化指定選手が活躍し、また各地の大会でも多くの福岡県選手が好成績を残しています。

国営海の中道海浜公園と共催した「福岡トライアスロンフェスタ 2008」では、エキデンの部 220 チーム 660 名、スーパースプリント九州沖縄選手権には 60 名、スーパーキッズトライアスロンには 300 名を超える選手が集まり、普及の面からも大いに飛躍した年でありました。

一方、残念なことに、トライアスロン創世記から開催されてきた指宿トライアスロン大会が中止となり、日本一人気のロングディスタンス大会である宮古島トライアスロン大会も来年度から距離を短縮することが決定しています。

そして、われわれトライアスリート唯一の情報源であった「トライアスロンジャパン」誌が年明けの発行を最後に休刊となりました。

しかし、新年を迎え、トライアスロン界、福岡県トライアスロン連合は初心にかえり、トライアスロン競技の普及、発展、そして、社会貢献活動へと積極的に活動してまいります。

今年はいよいよトライアスロンが国体に登場する年です。本年も夢と希望、楽しさに満ちた「福岡県トライアスロン連合」に期待していただくとともに、引き続き、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



平成 21 年元旦  
福岡県トライアスロン連合  
理事長 山中良晃